

トリチウムを含む福島原発放射性廃液の海洋投棄に反対する決議

市民と科学者の内部被曝問題研究会有志及び内部被曝を憂慮する市民と科学者

2018年7月20日

福島原発事故によるトリチウム総量は約 3400 兆ベクレル、2014 年 3 月でタンク貯留水中に 830 兆ベクレルのトリチウムがあると発表されている。この膨大な放射性廃液はその後とも増加する一方である。そのため、漁連などの反対運動の隙があれば、政府・東電はトリチウムを含む福島原発事故廃液の処理・処分として、それを希釈して海洋に投棄しようとしてきた。現在、ここに至っていよいよ政府は海洋投棄の実施に踏み切ろうとしている。原子力規制委員会の更田豊志委員長は規制するどころか海洋投棄を提唱し、先導している。

我々は以下の理由で放射性廃液を海洋に投棄することは決してすべきでないと考える。

1. トリチウムは生命・健康への危険性が少ないと誤解されているが非常に危険な放射性物質である。なぜなら、人体の大部分を占める通常の水と化学的に区別がつかず、生体のあらゆる場所に取り込まれ、内部から被曝させ、活性酸素等を介して間接的に細胞膜やミトコンドリアを破壊する。また、直接的に遺伝子、DNA の化学結合を切断する。トリチウム特有の危険性として遺伝子の水素原子とトリチウムが入れ替わるとベータ (β) 崩壊でトリチウムがヘリウムに変わることによって遺伝子の化学結合が切断される。

植物は炭酸同化作用によって水と炭酸ガスからでんぷんを作る。このでんぷんの水素原子がトリチウムに変わることによって有機トリチウムが形成され、動植物や人間が体の一部としてその有機トリチウムを長期間取り込み、内部被曝する。

2. このようにして、原発から放出されたトリチウムによって玄海原発周辺の住民の白血病の増加、世界各国の再処理工場周辺の小児白血病の増加、原発周辺の小児がんの増加等が報告されている。現実に被害が発生しているのである。

3. たとえ、希釈して海洋投棄されたとしても食物連鎖などの生態系を通じて濃縮される。さらに気化してトリチウムを含む水蒸気や水素ガスなどとなって陸地に戻り、環境中を循環する可能性がある。希釈すれば安全というのは過去に多くの公害問題でくりかえされた誤りであり、環境に放出される総量こそ問題である。それ故、放射性物質や有害物質は徹底的に閉じ込め生態系から隔離することが公害問題では唯一正しい原則的な対応である。

以上のようにトリチウムは半減期が 12 年と長く、長期にわたって環境を破壊する。生体の大部分を、さらに遺伝子をも構成する水素の同位体であるから、希釈して投棄して安全とは言えない。それ故、トリチウムの海洋投棄を決して行わないよう政府・原子力規制委員会に強く要請する。

決議賛同者氏名

市民と科学者の内部被曝問題研究会有志及び内部被曝を憂慮する市民と科学者

10月29日現在

個人

淡川典子、青木幸雄、青柳行信、荒井康裕、上里恵子、吾郷健二、吾郷成子、
阿部毅、阿部 健太郎、阿部めぐみ、有田武生、アントニオ弓削、池田 慈、池村奈津子、
石野はるみ、石岡敬三、石川隆之、石下直子、石田悟、石田紀郎、石田祐三、
石堂太郎、伊集院真知子、泉 和代、市川澄夫、伊藤和子、伊藤廣昭、稲垣博美、
稲垣睿、稲村 守、乾喜美子、入江紀夫、印南敏夫、今田裕作、岩田深雪、
上野益徳、上野祥子、魚住 公成、魚住 優子、内田千可史、内海洋一、宇野朗子、
浦谷 利江、衛藤 英二、遠藤順子、エンリー・マギー、及川洋子、大倉純子、大倉弘之、
岡田俊子、小笠原信、小木曾茂子、大島建男、大竹進、大沼淳一、大見哲巨、
大和田幸嗣、大湾宗則、岡山邦子、岡山伸一、岡山文人、奥村 榮、奥森祥陽、
尾崎一彦、尾崎憲正、尾崎宗璋、長田満江、小張佐恵子、落合栄一郎、落合祥堯、
小田切 豊、小野寺晶、小野英喜、折原利男、葛西敦子、柏木幸雄、柏木美千代、
片岡光男、勝部明、加藤 能子、兼平 薫、川崎陽子、川添 務、河原よしみ、
木次昭宏、北上雅能、北野庄次、木原和子、木村千亜紀、許照美、日下部信雄、
くじゅうのりこ、熊谷まき、熊崎実佳、黒河内繁美、黒田節子、黒田レオン、黒田ローザ、
桑門宏行、鋤野保雄、権 龍夫、小泉真理子、国分 天、小柴信子、児玉順一、
小橋かおる、後藤五月、小林立雄、小林久公、小林 和彦、小林初恵、小針修子、
小東ゆかり、小宮市郎、古村一雄、小山潔、コリン・コバヤシ、今 正則、近藤 務、
近藤宣子、今野 寿美雄、斉藤さちこ、齊藤智子、佐久間む津美、佐田 徹、佐藤和利、
佐藤京子、佐藤大介、佐藤文雄、佐原若子、澤田昭二、茂田初江、茂田敏夫、
志田弘子、しばた圭子、嶋田美子、島安治、清水美智子、下澤陽子、下館洋子、
下山久美子、庄司善哉、白井 健雄、白鳥紀一、菅原佐喜雄、杉田くるみ、**杉野恵一**、
鈴木則雄、鈴木紀雄、鈴木伸幸、砂川正弘、清木和義、高石 昭、高木和美、
高木 伸、高階喜代恵、高瀬光代、高橋精巧、高橋武三、高崎 洋子、高松利昌、
谷崎嘉治、滝本 健、田口弘子、竹内育子、竹添みち子、竹浪純、田代真人、
橘 優子、館澤みゆき、田中章子、田中一郎、田中和恵、田中清、田中慶子、
田平正子、玉城 豊、辻 陽子、辻本 誠、土屋 直宏、哲野イサク、寺尾光身、
友田シズエ、外谷悦夫、富田孝正、中川悦子、中川慶子、中川洋子、中沢浩二、
長尾高弘、長澤民衣、中須賀 徳行、永田文夫、名出真一、中西 綾子、中村由紀男、
那須圭子、奈良本英佑、難波希美子、西尾正道、西川生子、西川隆善、西里扶甫子、
西山龍之、二瓶一夫、根岸貴通、根本 勘、野口幹夫、野村修身、萩原正子、

萩原ゆきみ、波嗟栄総子、橋爪亮子、橋本恵美、長谷川昭一、馬場利子、林敬次、
原田二三子、平佐公敏、平野良一、廣田 恭子、福島敦子、藤井隼人、藤井弘子、藤原寿和、
船富和枝、フォーク者イサジ式、星川まり、堀江みゆき、松井英介、松井和子、
松岡由香子、松尾美絵、松沢哲成、松久寛、松本理花、三浦翠、見形プララットかおり、
三上幸子、三澤泰幸、水鳥方義、水野千春、水野康子、水戸喜世子、宮尾 素子、
宮口高枝、宮寄やゆみ、宮下京子、宮永崇史、向平恵子、向平真、三ツ林安治、
三室勇、武笠紀子、望月逸子、森下育代、森田眞理、守田敏也、森野潤、
矢ヶ崎克馬、八木和美、梁取洋夫、矢野勝敏、山岡あきこ、山岸康男、山口サエ子、
山崎清、山崎知行、山崎正彦、山下優子、山田五十鈴、山田清彦、山田耕作、
山田勝暉、山田信太郎、山田敏正、山田 誠、山本清子、山本英彦、横山恵子、
横山義弘、横山由美子、吉田明生、吉田恵子、吉田素直、吉田千佳子、吉田若子、
米澤鐵志、わしおとよ、渡辺悦司、渡辺典子、渡辺眞知子、和田千重、

293名

Dorothy Anderson, Ellen Atkinson, Kim Atkinson, Frank Belcastro, Richard Booth,
クリス・バズビー/Cristopher Busby, Patrick Bosold, ノーマ・フィールド/Norma
Field, チェイス洋子/Yoko Chase, Adam Broinowski, Thomas Cannon, Anneke Corbett,
Cara Campbell, John Dunn, Kathy Durrum, Matt Eager, Nancy Lee Farrell,
Jane Feldman, Tom Ferguson, Jeff French, Roxanne Friedenfelds, Deb Fritzler,
Rachel Fulcher, Subrata Ghoshroy, Mark M Giese, Stephen Gliva, Steven Goldman,
Norda Gromoll, Maureen K. Headington, Elaine Holder, Carol Jagiello,
Annette Jacobson, Marylia Kelley, Ellen Koivisto, Cheryl Kozanitas, Don Light,
Victor Lau, Sandra Malasky Victor Lau, Don L. John Liss, Andy Lupenko,
Martha E. Martin, Meg Mazzeo, Susann McCarthy, Gary Michael, Susan Monaster,
Bernardo Alayza Mujica, Nancy Neumann, Tom Nieland, Sharon Nolting,
Patricia Orlinski, Allison Ostrer, Carol Joan Patterson, Judi Poulson,
Oscar Revilla, Mary Rojeski, Mark D. Stansbery, Sister Gladys Schmitz,
Forest Shomer, Gerritt and Elizabeth Baker-Smith, Jaune Smith, Edh Stanley,
Bob Stuart, James Talbot, Nick Thabit, Sharon Torrisi, Dennis Trembly,
Mary A. Vorachek, Jody Weisenfeld, Carolyn Whiting, Woofwow,

73 293+73=366

366 Individuals:

団体

明日は我が身のフクシマ実行委員会、我孫子の子どもたちを放射能汚染から守る会
エナガの会（戦争しないさせない市民の会・柏）、太田川ダム研究会、
オールターナティブズ、核燃から郷土を守る上十三地方住民連絡会議、
核燃を考える住民の会、京都脱原発原告団、

クライストチャーチの風、原発いらぬ牛久の会、
原発いらん！山口ネットワーク、原発止めよう！東葛の会、
原発の危険性を考える宝塚の会、さよなら原発神戸アクション、
三陸の海を放射能から守る岩手の会、静岡放射能汚染測定室、
常総生活協同組合、常総生協・脱原発とくらし見直し委員会、
白井子どもの放射線問題を考える会、全国金属機械労働組合港合同アート・アド分会、
脱原発はりまアクション、脱被ばく実現ネット、
ティナラク織の会「カフティ」、とりで生活者ネットワーク、
日伊の架橋一朋・アミーチ、東日本大震災被災者支援千葉西部ネット、
常陸24条の会、福島応援プロジェクト茨城、
放射線量測定室・多摩、放射能NO!ネットワーク取手、
放射能からこどもを守ろう関東ネット、放射線から子どもたちを守る三郷連絡会、
民間福島事故収束委員会(57名)、よそものネット・フランス、
Nuclear Energy Information Service, JAN (Japanese Against Nuclear) UK、
Nukewatch、Sayonara Nukes Berlin、
Stand Up/Save Lives Campaign、Nuclear Watch South、
Beyond Nuclear、
41団体

賛同していただける方は山田 kosakuyamada@yahoo.co.jp までメールください。